

啓発活動について

・国民に対して日常的に行う啓発

(目標) あらゆる機会を通じた啓発活動により、多くの国民が川に関心を持ち、急な増水を含めた河川に内在するさまざまな危険を一般常識として認識する。

赤：新規に実施し毎年継続
 青：一部実施しており今後は強化継続
 緑：現在でも実施しており今後も継続

短期：来年の出水期までに実施
 中期：1～2年後を目途に実施
 長期：3年後以降に実施

啓発内容	対象区分	日 常 的			夏前(5月～7月)		
		対策 (手法・手段等)	実施主体	目標期間	対策 (手法・手段等)	実施主体	目標期間
<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、急な増水につながる局地的豪雨の発生頻度が増加しており、急な増水がどこでも発生する可能性があることを認識する。 急な増水による新たな水難事故への防止策として、次の項目について啓発を行う。 <p>(1)急な増水が起こりやすい河川の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の急な水位上昇の状況 各地域に残る体験談や地域伝承 長い間、川に親しんでいる人たちの経験 <p>(2)急な増水の予兆</p> <ul style="list-style-type: none"> 大雨警報などの気象情報 黒い雲、あたりが暗くなる 雷が鳴る 冷たい風が吹き始める 濁った水、ゴミが流れてくる <p>(3)さまざまな情報の入手法</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象情報、雨量や河川水位等の観測情報や予測情報 	一 般	河川管理者の広報等でコラム的に川の安全利用に関する記事を掲載	・河川管理者	・短期	<p>水辺の安全週間の設置</p> <p>既存の河川愛護月間等の取り組みと連携し、水辺の安全利用に関する啓発活動を重点的に行う「水辺の安全週間」を設けて毎年継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 水辺の安全に関する啓発看板デザインや標語等の募集 水辺の安全に関する出前講座の重点的实施 テレビ、新聞等のマスコミとの協力による情報提供 <p>河川施設の安全点検を連携して行うと同時に、地域住民から急な増水に関する体験談や地域伝承等の地域独自の情報収集に努め、HP等により公表</p> <p>文科省、環境省、農水省に対し、関係機関等に対する周知・啓発の依頼を継続実施</p> <p>学校関係者や市民活動団体、行政関係者等を対象に、河川管理者とRAC、CONE等が連携し、「水辺の安全講座」を毎年度継続して開催</p> <p>毎年度、国土交通省から全国の河川管理者へ通知文による周知を継続</p> <p>RAC、CONE等加盟団体に対する周知・徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理者 都道府県、市町村等 NPO等 企業等 	<ul style="list-style-type: none"> ・短期 ・短期 ・短期 ・短期 ・短期 ・短期
		市区町村レベルでの市民への情報提供(転入者窓口での資料配付、広報誌への掲載等)	・市町村等	・短期			
		NPOによる河川の安全利用に関する講座、情報提供等の実施	・NPO等	・短期			
		河川の安全利用に対する企業による支援	・企業等	・短期			
		公民館や資料館等の施設を利用した情報発信	・河川管理者 ・都道府県、市町村等	・短期			
		イベント等のあらゆる機会を通じたリーフレット等の配布	・河川管理者 ・都道府県、市町村等	・短期			
	子ども	あらゆる関係者によるホームページや雑誌等による記事の掲載、情報提供の実施	・河川管理者 ・都道府県、市町村等 ・NPO等 ・企業等	・短期			
		小学校で義務付けられる長期自然体験活動のカリキュラム項目として位置付ける。(長期自然体験活動指導者養成講習の安全対策の必須項目として位置付け)	・河川管理者 ・文部科学省	・短期			
		川や水に関わる出前講座等の機会を利用して必須項目として組み込む。	・河川管理者 ・都道府県、市町村等	・短期			
河川境教育担当者等				河川管理者等を対象とした「水辺の安全講座」の開催 全国の河川管理者や河川環境教育担当者を年度当初に一同に集め、水辺の安全対策の講座を毎年実施	・河川管理者 ・都道府県、市町村等	・短期	

・河川利用予定者に行う啓発（河川利用の出発前及び現場到着時を想定）

（目標）河川利用予定者ならびに沿川住民が、利用する身近な河川に内在する危険を認識する。

赤：新規に実施し毎年継続
 青：一部実施しており今後は強化継続
 緑：現在でも実施しており今後も継続

短期：来年の出水期までに実施
 中期：1～2年後を目途に実施
 長期：3年後以降に実施

啓発内容	対象区分	対策（手法・手段等）	実施主体	目標期間
<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none"> 釣りや川遊び等で川や水辺を利用しようとする人に、それぞれの川の特性と内在するさまざまな危険性についての周知・啓発を行うとともに、危険を予知し回避することを周知徹底する。 上記の啓発活動の中で、内在する危険性のひとつである局地的な豪雨による急な増水の危険性についての徹底を図る。 <p>[事前の情報確認と現地での情報収集方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用予定河川の河川特性や利用日時の気象情報を事前に調べ、河川現場では河川状況や気象等の詳細な情報を注意看板等から収集することを周知させる。 （携帯電話による気象情報や川の防災情報の入手方法） <p>[過去の水難事事故例]</p> <ul style="list-style-type: none"> 予知・予見の難しい急な増水による水難事故が過去に発生した河川や発生の可能性がある河川においては、日常的に利用している地域住民への啓発と危険回避の周知徹底を図る。 	一般	<p>RAC、CONE等に加盟している指導者による活動を通して、一般参加者に基礎知識として川の安全利用の周知徹底を毎年実施</p> <p>沿川地域の町内会や自治会によるリーフレット等を使った広報・啓発</p> <p>川の体験活動の指導者や周囲の大人等が、河川利用時に危険を予見した場合子どもたちを含む河川利用者に積極的に呼びかけ避難させる体制が構築できるよう、関係団体や地域の関係行政機関が連携し取り組む</p> <p>利用者の多い河川付近のコンビニ、ガソリンスタンド、観光案内所、遊漁案内所、アウトドア関係のスポーツ店や漁具店等においてリーフレット等を配備</p> <p>各河川の管理者等（各河川事務所や都道府県、市町村）のホームページや、川に関する情報を提供しているホームページにおいて川の状況とともに情報提供</p> <p>利用者の多い河川では、堤防上や入口付近の人目につきやすい場所において看板等で更なる周知・徹底</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理者 NPO等 自治会等 河川管理者 都道府県、市町村等 NPO等 企業等 沿川の店舗 漁協等 河川管理者 都道府県、市町村等 NPO等 企業等 河川管理者 都道府県、市町村等 	<ul style="list-style-type: none"> 短期 短期 短期 短期 短期 短期
<p>[基本的なルール]</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に川での体験活動の少ない子どもが川で活動する場合は、安全に対するスキルを持った大人（川の指導者）と一緒に活動することや、雷や夕立の時はすぐに川から避難することなどの安全利用の基本ルールについて理解させる。 <p>[指示に従う]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大人の人から川からの避難や活動の中止を呼びかけられた時には指示に従うことを理解させる。 	子ども	<p>各河川管理者から教育委員会経由で川に近接した学校の先生一人一人にリーフレット等を配布し、各先生から子どもたちへの周知・啓発を毎年実施</p> <p>特に、川に近接した小・中学校を主体として、RAC、CONE等と連携し「子どもの水辺安全講座」を発展させた講座を積極的に開催し毎年継続実施 ・『川がき講座』『かっぱ養成講座』などのネーミングで全国的に展開 夏前のプール開きに合わせた出前講座を企画し、地域の学校に対し積極的な働きかけを継続して実施</p> <p>RAC、CONE等に加盟している指導者は、「子どもの水辺安全講座」等を積極的に企画・開催し、毎年度継続的に実施</p> <p>利用者の多い河川では、堤防上や入口付近の人目につきやすい場所において看板等で更なる周知・徹底（再掲）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 河川管理者 都道府県、市町村等 学校関係者 河川管理者 NPO等 河川管理者 NPO等 河川管理者 都道府県、市町村等 	<ul style="list-style-type: none"> 短期 短期 短期 短期